

超伝導コイル4基を受注

ITER 東芝、今月下旬から
向け製作

今月下旬から製作を開始すると発表した。ITERは、同社の受注分を含む十八基のトロイダル磁場コイルを用いて建設が進められ、二〇二〇年から運転を開始する計画。

同社が受注したのは、トロイダル磁場コイル四基と同コイルの収納容器六体。トロイダル磁場コイルは、核融合反応に必要な高温のプラズマを閉じ込めるための磁場を発生させる超伝導コイルで、二〇一七年から順次納入する予定。同社京浜事業所と日立・東芝パワーシステムで最適な生産体制を構築し、両社で分担して製作を進める。

東芝は二十日、フランスサン・ポール・レ・デュランス市のカタラッシュで建設中の国際熱核融合実験炉(以下、ITER)向けトロイダル磁場コイルの製作を日本原子力研究開発機構(以下、JAEA)から受注し、

放取主任者試験
の受験申込受付

一四年度の放取線取扱主任者試験が、第一種は八月二十一日、第二種は八月二十二日の各日程で、全国六都市(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡)の七会場で行われる。問合せは、原子力安全技術センター主任者試験グループ(03-3814-7480)、同西日本事務所(06-6450-3320)まで。受験申込書入手方法は、受験申込書入手方法センターHP(http://www.nustec.or.jp/)

サイエンスキャンプが多彩に

参加者を募集 科学技術振興機構主催の先進的科学技术体験プログラム「サイエンスキャンプ」の参加者を募集している。研究機関など各会場で、主に高校生を対象に七月下旬から八月の夏休み期間中に実施される。

10倍超の速度を実現
原子力機構 U含有廃液の処理

日本原子力研究開発機構は二日、従来装置に比べ処理速度が十倍以上の新しいウラン含有放射性廃液の処理技術の開発に成功したと発表した。この処理技術は、灯油などの溶媒により水に溶けた成分を抽出し、水に溶けず浮遊している微細な固体や高粘性な液体を液・液界面に凝集させ浮遊物トラップに導いて回収する「エマルジョンロー法」を利用したもの。同機構の人形峠環境技術

国際競争力強化にむけ
岡野バルブ 平田バルブと資本提携

岡野バルブ製造は七日、平田バルブ工業と資本提携を行うことを決めた。発表は、それぞれの持つ火力原子力発電プラント向けの高圧バルブ、原子力発電プラント他産業用バルブの製造・メンテナンスの実績をベースに、双方の経営資源を相互に有効活用して、これまでの少量多品種生産に伴う生産量の山谷を克服し、国際競争力を高めていくのがねらい。

富士通、横河が提携し新事業
未来医療分野で

富士通と横河電機は九日、未来医療分野の提携を発表した。電子カルテシステムを始めとする医療・福祉分野に取り組み富士通が、横河電機の百

理し、廃液中のウランを排出基準濃度以下の九二%まで除去することにも成功。同じ装置を三台つなげれば、九九・九%のウランを回収できる。従来のイオン交換樹脂やキレート樹脂などによるウランの除去では処理速度や経済性が課題となっていたが、本技術ではコンパクトでシンプルな装置により簡便かつ低コストで迅速な処理が可能になった。

この技術は、工場排水の浄化や廃液からのレアメタル回収など、原子力以外の分野への応用も期待されるといわれている。また、この技術は、工場排水の浄化や廃液からのレアメタル回収など、原子力以外の分野への応用も期待されるといわれている。

放射性Srを非破壊で計測可能に
立教大学

立教大学の研究チームはこのほど、これまで困難だった放射性ストロンチウムの計測について、崩壊時にベータ線を放出する性質を利用し、非破壊で行う新しい方法の開発に成功したと発表した。本研究では、放射性ストロンチウムが放出する高いエネルギーのベータ線を捉え評価することに着目し、存在量の多い放射性セシウムを大量に含む土壌に対しては、セシウムの放出するガンマ線の寄与を実測・評価して差し引くなどし、精度・感度は劣るものの、化学処理を経ずに短時間・低成本で定量評価を可能とした。

やX線自由電子レーザー施設SACLAの施設を使用した放射線治療の現場の見学や、DNAを使った生物学実験など、様々なプログラムを体験できるという。日本原子力研究開発機構は幌延深地層研究センターで、実際に採取された数百万年前の地層試料を顕微鏡で観察、地下に作用する力や地下水の流れを調べ、地下深くの世界で総合的な地球科学について学べるキャンプなどを開催する。

放射線治療分野などにおいて、共同で研究開発に取り組むとともに、未来医療分野での新規事業創出や、次世代の健康・医療分野での新事業展開を図る方針だ。

J-PARC 運転再開進む
26日(金)スタート

大強度陽子加速器施設「J-PARC」は二十日、ニュートリノ実験施設での実験を再開する。一三年五月のハードロン実験施設における放射線物質漏えい事故以降、停止していたが、安全性の確認を踏まえ、二ヶ月の物質・生命科学実験施設に続き再開する。事故が発生したハードロン実験施設は、引き続き

外務省、原子力協力専門員を募集

外務省軍縮不拡散・科学部は、原子力の平和的利用に係る専門的知見と実務経験を有する原子力協力専門員を二名公募している。契約期間は七月一日から十二月末日まで(通算二年を超えない範囲で更新の可能性あり)。応募受付は六月二日必着。詳細は外務省ホームページ(http://www.mofa.go.jp/mofaj/dns/incc/page23_000898.html)で

植物オイルの毛髪
浸透を可視化

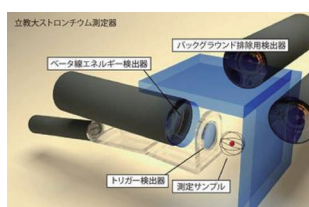
大型放射光使い成果 美容系専売のヘアケア用品を製造・販売するミラルボンはこのほど、大型放射光施設「Spring-8」を用いて、植物オイルの毛髪への浸透

放射線医学総合研究所

放射線医学総合研究所は、SPring-8

本研究所では、美容技術

草オイルは毛髪表面付近に保持されたのに対し、ホホバオイルは毛髪表面のみならず内部付近にも保持されるといふ異なる



2014 Apr. Jiro Muzata

Nuclear Energy Buyers Guide in Japan 2014 9月刊行 掲載企業募集! 掲載無料 ●海外向けに原産協会会員各社の業務内容を英文で紹介! ●日本の原子力産業界の全体像を示す唯一の資料! ●海外VIP来日時や各種海外展示会等で配布予定! (2011年度版) 詳細は全会員企業様宛にメールにてお知らせ済みです buyers2014@jaif.or.jp TEL 03-6812-7109